

G8 科学技術大臣会合の結果（概要）

1. 開催日、開催地 平成 20 年 6 月 15 日（日）、沖縄県名護市

2. 参加国 G8 及び招へい国の 15 ヶ国及び EU の科学技術担当大臣又は政府高官（日本からは岸田科学技術政策担当大臣）

3. 会合結果の概要

- G8 の科学技術担当大臣が初めて一堂に会して、科学技術を活用して人類社会に貢献していくかについて議論を行ったことに大きな意義。
- 低炭素社会の実現に向け、革新的な技術開発の重要性を確認、各国がこの分野の研究開発を強化することで一致。各国の研究開発計画の情報共有を進めていくことで一致。次世代バイオ燃料に関する国際協力の重要性を認識。
- アフリカ等の持続的な発展のために、各々の国の政策を尊重しつつ、科学技術協力を進めることが重要であると認識。途上国の人材開発を強化し、先進国と途上国との様々な形での政策対話の実施に賛同。
- 大規模研究施設の国際的共同利用の促進や重複投資の回避を目的として、各国の既存施設や将来計画の情報交換を行う G8 と他の国の高級事務レベル会合を設けることを合意。
- 今後の予定として、日本から、上記の課題に関する各国の政策やプログラムの情報のとりまとめを提案し、歓迎された。来年のサミット議長国であるイタリアが第 2 回会合の開催を表明し、歓迎された。